合同チームの全国大会出場を承認

同一支部のチームに限定

連盟の重要伝達事項はこのページ（15面）に掲載しています

今年の中国派遣を見合わせる

第32回世界少年野球大会

第1回スタッフ会議を開催

平成25年度第3回理事会報告

連盟ほっと情報

平成25年度第3回理事会が5月26日(日)午後2時から連盟本部会議室で開催された。この理事会には、理事現在数20名中、18名が出席、定足数を満たしており、理事会は正式に成立し、「第44回選手権大会」「第14回鶴岡一人記念大会」「2013海外派遣」「諸規則改正」「大会運用細則」など7議案を審議、いずれも可決承認された。主なものは以下の通り。

◇第44回選手権大会

8月2～5日まで、舞洲球場を中心に小学部19チーム、中学部45チームが参加して開催される。組み合わせ抽選会は、7月15日(祝)午後3時から「読売新聞大阪本社・ギャラリーよみうり」で行う予定。

◇2013海外派遣

①第32回世界少年野球大会

8月19日出発、25日帰国予定。団長・中谷恭典（連盟理事）、総務兼通訳・井上憲之（南海酒販社長）、監督・清水信英（NOMOベースボールクラブ監督）、コーチ・岡本光（NOMOベースボールクラブコーチ）。選手団については、詳細を次号に掲載予定。

②カル・リプケン12歳以下世界少年野球大会

8月7日出発、20日帰国予定。役員、選手団は1面に掲載。

③JUNIOR ALL JAPANアメリカ遠征

8月19日出発、25日帰国予定。団長・中谷恭典（連盟理事）、総務兼通訳・井上憲之（南海酒販社長）、監督・清水信英（NOMOベースボールクラブ監督）、コーチ・岡本光（NOMOベースボールクラブコーチ）。選手団については、詳細を次号に掲載予定。

④日中友好親善少年野球試合

関国際部長から以下の報告が行われた。「鳥インフルエンザ、大気汚染などの問題があり、担当の九州ブロック役員も見合わせた方が良いとの意見が大勢を占めていることから先日のブロック長会で、今年は派遣を見合わせることが話し合われた。日中文化交流協会にその旨申し入れ、中国棒球協会も了承されたということで本年は派遣を中止したい」。この報告を受け、「理事会として、今年は中国派遣を見合わせる」ことが全会一致で承認された。

◇第7回全日本中学野球選手権大会　ジャイアンツカップ

昨年は湘南クラブボーイズが優勝。過去6回の大会でボーイズリーグは、第3回を除き5回優勝を勝ち取ってきた。今年出場が決まっているのは、都筑中央ボーイズ（東日本ブロック）、枚方ボーイズ（関西ブロック）、西松ボーイズ、糸島ボーイズ（ともに九州ブロック）の4チームである。

大会期間　8月10日(土)～14日(水)の5日間首都圏の硬式野球場で開催される。

開会式　9日(金)京王プラザホテルで実施。

ボーイズ出場枠　12（北海道枠を含む）

◇第4回全国小学生野球交流大会　アンダーアーマーカップ

第1回大会は世田谷タイガースボーイズ、第2回は岡崎葵ボーイズとボーイズリーグが優勝を勝ち取ってきたが、昨年の第3回は残念ながら第3位に入ることとどまった。

大会は8月19日(月)～20日(火)明治神宮野球場で開催される。

開会式　18日(日)午後5時～

ボーイズ出場枠　3（復興枠1含む）

8月にアメリカ・フレズノで開催される「第32回世界少年野球大会」（協賛・ミズノ株式会社）の第1回スタッフ会議が5月18日、ミズノ九州支社（福岡市）で開催された。

この会議には、中尾孝義団長、中村肇総務、大野倫監督、城須智也コーチ、橋本幸夫コーチ兼マネジャーの全スタッフが出席し、遠征スケジュール、合同練習日程、ユニホームデザイン等を話し合い決定した。

中尾団長「V3を目指してがんばります」

大野監督「もちろん目標は優勝ですが、選手たちに日本を代表としているということを自覚して頑張ってもらいたいと思っています」

今年の世界少年野球大会第1回スタッフ会議の出席者（前列右から中尾団長、中村総務、後列右から城須コーチ、大野監督、橋本コーチ）

小学生キッズ大会の規定決まる

◇小学生キッズ大会規定

①参加資格　連盟に登録した小学4年生～2年生

②塁間　21・84㍍

③バッテリー間　14・367㍍

④試合は5イニング制で行い、3回終了をもって正式試合とする。

⑤試合開始から1時間20分を超えた場合、新しいイニングには入らない。

⑥3回終了時12点差、4回以降7点差の場合はコールドゲームとする。

⑦1イニングに12点とった時点で、アウトカウントに関係なく攻守交代とする。

⑧投手は同一日に4回を超えて投球することはできない。ダブルヘッダーでの連投は認めるが、投球回数は合計で4回以内とする。

◇登録システムについて　IT委員会からのお願い

本年度から役員、選手登録システムが新しくなり、運用面で若干トラブルが発生しています。

問題解決のためにIT委員会から以下の要望が出されています。

①7月から選手登録の連盟承認を毎週水曜日とする。

②連盟統一用紙を使用するとともに入金を早くしていただきたい。

③退団選手の抹消届を必ず提出していただきたい。

◇諸規則改正に関する件

4月号で詳細掲載分の「支部規約」「大会および試合規則」「連盟主催大会規定」「地区大会開催規定」「チームの遵守事項」等は提案通り可決承認された。

新たに「合同チーム」および「小学生キッズ大会規定」が提案され可決承認された。

選手不足による大会参加の特別措置（合同チーム）について

（1）選手数不足の合同チームでの大会参加について

①原則として選手数が不足している（10人以下）2チーム以上の合同チームでの大会参加を認める。（全国大会、連盟主催大会および支部予選を含む）

②関係チーム間の距離は適用することも可能とする。

※母体となる選手数不足チーム同士に限定する。

③適当な相手チームがないなどの理由で、合同チームが組めない選手数不足チームには、下記のルールを適用することも可能とする。

（例…6名の場合↓最大5名借入可能。7名の場合↓最大4名借入可能。8名の場合↓最大3名借入可能。9名の場合↓最大2名借入可能）

④合同チームの組み合わせは、当該大会（春季全国大会、選手権大会、連盟主催大会）ごとに所属支部に届け出て、承認を得ることとする。

（2）大会参加について

①大会参加申し込みは、合同チームが関係する全てのチーム代表の承認印を必要とする。

②ベンチ入りするチーム代表（チーム責任者）、監督、コーチ、マネジャーは関係するチーム代表の協議で選任し、所属支部に登録する。

また、試合当日関係するチーム代表（チーム責任者）が必ず選手を引率することとし、ベンチ入りできないチーム代表（チーム責任者）もスタンド等で観戦、常に待機すること。

③大会参加の名称は関係チームで協議し、「合同チームの連名」+「ボーイズ」とする。

（3）ユニホームなど

次の用具（帽子、ユニホーム上下、アンダーシャツ、ストッキング、打者用ヘルメットなど）については、合同チーム間で統一する必要はないが、全国大会に出場する場合は、ユニホーム上下のみ統一することが望ましい。

上記以外に生じるケースや問題については、当該支部およびブロックがその都度協議して判断する。

新チーム加盟

◇中学生の部【飯田ボーイズ】（長野県支部）▽代表　河村周三（☎0265・53・5856）▽監督　原三男（☎0265・23・1302）

【笛吹ボーイズ】（山梨県支部）▽代表　日原宏幸（☎0553・20・4072）▽監督　琴寄裕一（☎0552・61・1519）

【武蔵野府中ボーイズ】（東京都西支部）▽代表　塩野真希子（☎090・2543・7417）▽監督　五十嵐剛（☎090・1607・6232）

【鈴鹿ボーイズ】（三重県支部）＝仮承認▽代表　岡野友宣（☎059・379・3474）▽監督　菅原俊慶（☎059・379・5655）

【奥伊勢ボーイズ】（三重県支部）▽代表　小笠原一城（☎0598・83・2086）▽監督　小掠文朗（☎0598・82・3554）

【貝塚ボーイズ】（大阪南支部）▽代表　寺田和男（☎0725・57・4144）▽監督　宮原隆（☎0725・44・3260）

【奈良帝塚山ボーイズ】（奈良県支部）▽代表　吉村義保（☎0745・44・0992）▽監督　村崎眞生（☎0743・75・8018）

【香川観音寺ボーイズ】（岡山県支部）▽代表　大西康弘（☎090・8911・5292）▽監督　好川政洋（☎0875・24・9577）

【福岡芦屋ボーイズ】（福岡県北支部）▽代表　宮崎泰司（☎093・246・5588）▽監督　桜木亮太（☎093・293・1068）

◇5月連盟の動き

5日（日）～6日（振休）　リプケン大会最終選手選考会

9日（木）　愛媛県知事、松山市長表敬訪問

15日（水）　ニュース編集会議

16日（木）　全国ブロック長会

18日（土）　世界大会スタッフ会議

23日（木）　指導者・審判員マニュアル検討会

26日（日）　第3回全国理事会